

令和6年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	
市区町村名	
自治体区分	

●R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数	単位	目標年度	実績年度	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	目標等の公表先
藤沢市	①学校運営上の課題	01 教職員の時間外勤務の是正	市内の教員の約23%が、出退勤システムのデータ上、月45時間以上の時間外勤務を行っており、教員の業務負担軽減による時間外勤務の縮減が課題となっている。	・市全体で地域コーディネーターを、1中学校区あたり1名以上配置する（合計15名以上）。（前年度0名） ・地域コーディネーターは学校と地域の連絡調整等を担い、教員の業務負担軽減を図る。 ・地域ボランティアによる授業補助や校外学習の見守り等を実施する。	学校・家庭・地域の役割分担の明確化により、地域との協働が進み、教員の業務負担が軽減する。	月45時間以上の時間外勤務を行う教員の割合	23	%	20	19.2	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる ・地域ボランティアによる授業補助や校外学習の見守り等の実施が増えたため、教員の勤務時間削減に一定の効果が見られた。 ・19名をコーディネーターとして配置したことにより、上記支援が円滑化するなどの効果が見られた。 ・今後は、コーディネーターの配置人数を増やすとともに、スキルアップのための研修の実施や、学校と地域の連絡調整等をより円滑に行える体制を構築するとともに、継続的にボランティアの確保にも注力する必要がある。	https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/kyoiku/kyoiku/shogai/komisuku.html

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。